

青い空に浮かぶ白い雲 47

—教育委員会制度改革—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 健康、気力、体力があれば、人は夢をかなえることができる (三浦雄一郎)

—教育改革—

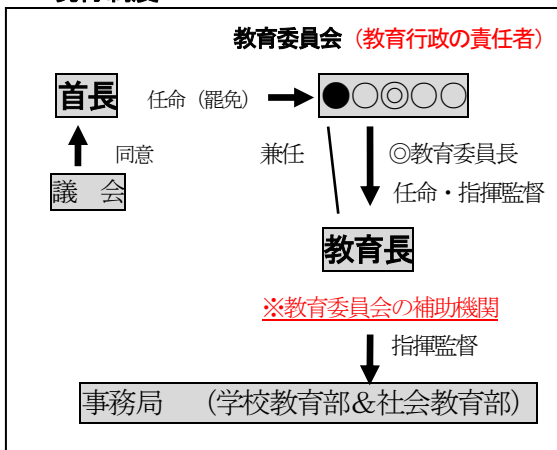
教育改革が進んでいます。

2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催も決まり、文部科学省も「国際社会で活躍する人材の育成」を掲げ、英語教育改革をはじめとする「進むグローバル化」への対応を進めています。また、心の教育や体力の問題、学力向上、ICTにかかわることなど、問題、課題は山積しています。さらに、教育を支える教育委員会制度の改革も急ピッチで進められています。

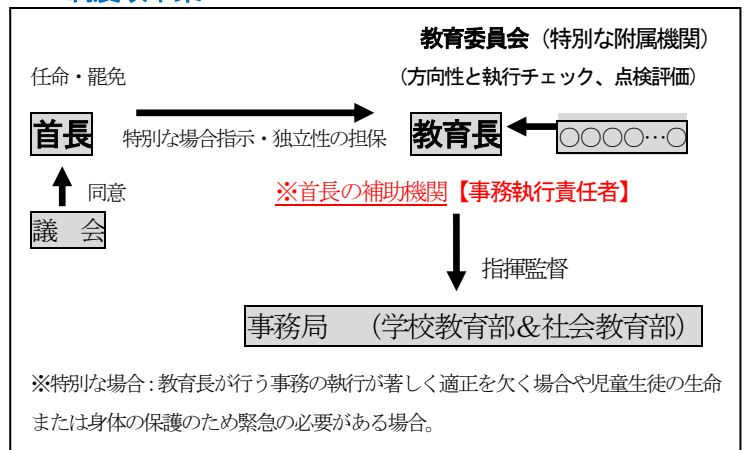
昨年12月、中央教育審議会総会では「今後の地方教育行政の在り方について」の中で、新しい教育委員会制度の在り方を文部科学大臣に答申しました。下に記した概要図は答申された新しい教育委員会制度と現行の教育委員会制度とを比較して記したものです。

答申には、新しい教育委員会制度「別案」も付け加えられていることから、決定まではまだ論議が続くようです。

現行制度



制度改革案



東大和市立第一中学校 地域の防火防災功労賞「優秀賞」受賞

地域と共に取り組む学校防災教育 ～守る側へ～

東大和市立第一中学校が、このたび東京消防庁より「地域の防火防災功労賞」を頂きました。

第一中学校は、平成19年度頃から地域の防火防災教育に取り組み始め、地域の消防団員を外部講師として道徳の授業を行ったり、防災訓練を通じて中学生が地域の中でどのような役割を担うことができるのかなど考えたりしながら地域と共に学習を続けてきています。

3学期は、第一中学校3年生が第一小学校4年生に消火器の扱い方やバケツリレーなどの方法について「伝授」する小中一貫による教育も行うそうです。

学校は「地域の学校」です。地域に暮らすみんなが校長のリーダーシップの中で、それぞれの役割を担い、責任を持って特色のある「地域の学校」をつくっていきましょう。学校の職員は原則6年までと言う限られた時間の中で、もてる力のすべてを出し切る覚悟で身に付けている指導力を発揮し質の高い教育を進めてください。学校の教育力は地域の誇りです。